

感動いっぱい

No.5

H26.4.30(水)

楽しかった“ふるさとふれあい遠足”

お天気が心配された遠足でしたが、晴天になり気持ちよく椿ロードを歩くことができました。道中や集合場所では、上手に下級生に指示を出していました。途中、つらそうにしている1・2年生に気付くと、リュックを持ってあげていました。

昼食をとった旧兜小学校では、広い芝生のグラウンドで「日頃の行いですかねえ。」なんて言いながら、縦割り班ごとに愛情弁当を完食しました。ご飯後は「おにごっこ」。6年生が鬼役になったり、逃げ役になったり。自分より小さい子達を嬉しそうに眺めていたので、「あなた達にも、こんなときがあったんだね。」と声をかけたところ、にっこり笑ってうなずいていました。

甲生涯学習センターでは、里ナビの岡本さんに「紙芝居」と「方言クイズ」をしてもらいました。方言クイズの「あんたらっちゃ、しっとるけ〜」は爆笑の連続でした。すっかり標準語化された子ども達は、穴水弁をほとんど使っていません。1問目の「べっちゃ」から、まるで外国語を聞いているような反応をしていました。答えがわからないときには「オーディエンス」「フィフティフィフティ」「テレフォン」に頼ることができましたが、子ども達は何のことかわからないまま全てのアイテムを使っていました。(世代でしょうか。)

脱落者なしで全日程を終えることができた“ふるさとふれあい遠足”。6年生のいい思い出の1つになったことでしょうか。この経験は、最上級生としての自覚と自信をつけてくれること間違いなしです。朝早くからのお弁当づくり、お疲れ様でした。

※遠足の様子は、穴水チャンネルで放映する予定です。

●児童代表挨拶って緊張する。

「あ〜。緊張するう〜。」「え〜。嫌だなあ…。」「でも、やるしかない。」そう、それが児童代表挨拶です。6年生がやらずして誰がしましょう。これから1人2〜3回、代表となって挨拶する機会が回ってきます。5月は「交通安全教室」「町陸上記録会」等々で挨拶をします。

緊張するけれど、やるからには堂々ときびきびとした態度で行いたいものです。「どんなことを言えばいい？」と相談されましたら、「先生に聞けばいい！」と即答せず、「そうやねえ〜。」って一緒に考えてあげてください。不安解消に効きめ大です。(もちろん、学校でも指導します。)